

## 平成 29 年度 第 2 回神奈川県いじめ問題対策連絡協議会（議事録）

日時： 平成 29 年 8 月 23 日（水） 9 時 30 分から 11 時 30 分まで  
会場： 開港記念会館 6 号室

## 1 開会

## 2 あいさつ

- ・前回の第 1 回においていただいた御意見や、パブリックコメントでの御意見を反映させて「いじめ防止基本方針の改定案」を作成した。今回は改めて御意見等をいただきたい。
- ・いじめ問題は大きな問題と認識をしているので、いろいろな立場からこの問題に関わっていただいている皆様から貴重な御意見をいただき、有意義な協議会としたい。

## 3 協議 「県いじめ防止基本方針の改定案について」

（事務局より）

## ○改定のポイント

## ア いじめの理解の促進

- ・けんかやふざけ合いであっても子どもの感じる被害性に着目し、いじめに該当するかどうかを判断する。
- ・「いじめ」という言葉を使わない指導など柔軟な対応も可とする。
- ・いじめ「解消」の定義を明確化し、解消までの継続的な支援を徹底する。

## イ 学校の組織的対応の強化

- ・学校いじめ防止基本方針に基づく対応を徹底することにより、教職員がいじめを抱え込まず、いじめへの対応が組織として一貫したものとなることを明確化する。
- ・いじめ防止の取組を学校の評価に位置付け、目標の達成状況を評価する。
- ・いじめ防止に関する実践的な教職員研修を実施する。

## ウ 教職員がいじめの防止に取り組める環境の整備

- ・教員が行う業務の明確化等により、教職員の業務負担の軽減を図る。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の充実を図る。

## エ 児童・生徒の状況に応じた支援・指導の徹底

- ・学校として特に配慮が必要な児童・生徒（※）について、当該児童・生徒への適切な支援や、保護者との連携、周囲の児童・生徒への指導の必要性を示す。

（※）発達障害を含む、障がいのある児童・生徒、外国につながる児童・生徒、性同一性障害に係る児童・生徒や「性的マイノリティ」とされる児童・生徒、東日本大震災や原子力発電所事故等により避難している児童・生徒などを含む。

#### オ 家庭・地域との連携強化

- ・いじめに係る状況や対策について、家庭への情報提供の充実に努めるとともに、学校運営協議会や学校評議員、地域学校協働本部などを通じて、学校から地域に対する情報提供を進める。

#### カ 重大事態への対応強化

- ・重大事態については、国の示した「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」に従って、適切に対応する。
- ・調査結果については、いじめを受けた児童・生徒およびその保護者の意向等を踏まえて、特段の支障がなければ公表を行う。

#### (委員からの意見)

- ・各学校で、教職員の孤立、抱え込みを防ぐ対策を是非お願いしたい。
- ・「人権尊重」「多様性を認め合う」という文言が入っているのがよい。
- ・連絡協議会に出席して、県の基本方針に基づき教育委員会がさまざまな取組をしていることが分かった。保護者も知りたいと思うので発信をして欲しい。
- ・学校いじめ防止基本方針は、各学校で修正を重ねているが、現場で実際に活用できるものになっているか、改めて見直す。
- ・リーダーシップをとれる教員が必要なので、教職員研修の充実が大切である。

#### 5 その他

- ・今後の予定等